

「石炭火力発電の建設はアカン！」 アクション

原発の電気も使わんとって！

原発+石炭火力から
省エネ+再エネへ <http://e-shift.org>

電力自由化で安さばかり求められると・・・

石炭火力推進
高効率化、新增設

省エネルギー

再生可能エネルギーの促進

COP21の合意

CO₂が大幅に増えるが・・・
「非化石エネルギー」で相殺

原発も推進

再稼働、事業環境整備

日本では、
再エネ+原発！

電力小売全面自由化で、ひとまず大阪ガスに、という方も多いかと思いますが。でも、ちょっと待って！大阪ガスは、山口と愛知での**131万kW**！の石炭火力発電所計画に関わっています。

石炭なら、原発よりもまし？ところが、石炭拡大は、逆に原発再稼働を後押ししてしまう恐れもあります。

1. 大気汚染、健康影響

最新鋭の石炭火力発電でも大気汚染物質（NO_xやSO_x、水銀）の排出があり、健康への影響も心配。

2. すでに電気は足りている

宇部の石炭火力発電所の稼働開始予定は**2023年**！10年後に、そんなに電気が必要なの？一方、途上国だけでなく日本でも気候変動の影響は深刻。

3. 石炭火力推進は原発推進！？

石炭火力は、CO₂排出係数が高い電源です。一方で、大手電力会社による業界団体として、2030年に温室効果ガス排出係数を0.37kg-CO₂/kWhに抑えていく目標も出しているなかで、石炭火力の新規建設は逆行します。

そこで、「非化石エネルギー」の活用で、相殺することになっています。非化石エネルギーには、再生可能エネルギーだけでなく**原発**がはっています。

大阪ガス株式会社
代表取締役社長 本荘武宏様

大阪ガスさん、原発も石炭火力も使わずに、持続可能社会へのシフトを進めてください

大阪ガスさんは、山口県宇部市、愛知県知多郡における石炭火力発電所新設計画に関わっています。CO₂排出の多い石炭発電の推進は、世界と日本の温暖化対策に明らかに逆行します。さらに、これによるCO₂増加を相殺するために原発の電気を調達することになれば、そのリスクは甚大です。

原発にも石炭にも頼らない社会をつくるために、省エネルギー・コジェネレーション・再生可能エネルギーの推進にシフトしてください。宇部と知多の石炭火力発電所計画は中止して下さるよう、心よりお願い申し上げます。

メッセージ

名前：
住所：



電力業界の
自主目標
0.37kg-co2/kWh

※1 石炭発電の使用電力あたりのCO₂排出量は、最新型でも約800g-CO₂/kWh。
一方、天然ガス火力発電所は、最新コンバインドサイクルで約350g-CO₂/kWh。
※2 石炭ガス化複合発電 (IGCC) の使用電力あたりのCO₂排出量は、約700g-CO₂/kWh程度。

そこで... 大阪ガスさんに伝えよう！

「将来は省エネ・コジェネレーション・再エネへ！」
原発の電気はこれからも使わんとって！
石炭火力発電所の建設・計画は中止に！

ガス会社が
石炭推進!?

Action 1

大阪ガス担当者に伝えよう！
下記もしくは地域の営業所に。
問合せ窓口TEL：0120-000-555

Action 2

大阪ガスの社長にはがきを送ろう！各地からたくさん届けば大きな力に。

Action 3

大阪ガス以外のところとの契約を考えている人は、その会社が石炭を進めているようだったら同じアクションを！

大阪ガスの石炭火力発電所計画とは？

西沖の山発電所（山口県宇部市、60万kW×2基）

運営：山口宇部パワー（出資：電源開発、大阪ガス、宇部興産）
運転開始予定：2023年 利用技術：超々臨界圧（USC）
年間CO₂排出量：720万トン（一般家庭144万世帯の排出量に相当）

名古屋第二発電所（愛知県知多郡、11万kW）

運営：中山名古屋共同発電（出資：ガスアンドパワー（親会社が大阪ガス）、中山製鋼所）
運転開始予定：2016年 利用技術：亜臨界圧（1950年代の旧式技術）
年間CO₂排出量：66万トン（一般家庭13万世帯の排出量に相当）

運転開始...赤
建設中...オレンジ
アセス中...黄色
計画中（将来計画を含む）...黒
運転中止もしくは廃止...緑



日本政府は石炭火力推進かつ原発推進！

石炭火力発電所の新規計画は**計48基**、

設備容量は**計2283万kW**にも及びます。

これらがすべて建設されれば、2030年のエネルギーミックスでの目標値（石炭の割合26%）をも上回ってしまいます。国連会議で決まった、今世紀後半に温室効果ガス排出を実質ゼロにするという国際合意にも逆行しています。

また**原発の電気を卸売市場**に流して、使いやすくすることもすでに検討されています。

2014年度は、原発利用率ゼロにも関わらず、日本のCO₂は減りました。省エネと再エネが広がれば、脱原発とCO₂削減は両立できます。

だからやっぱり、再生可能エネルギーを重視する電力会社を選ぼう！
パワーシフト・キャンペーン
<http://power-shift.org>

eシフト（脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会）
〒173-0037 東京都板橋区小茂根1-21-9（FoE Japan内）
Tel: 03-6909-5983 Fax: 03-6909-5986
e-mail: info@e-shift.org URL: <http://e-shift.org/>

eシフト
切手を貼って
お出してください

〒541-0046

大阪府中央区平野町
四丁目1-2

大阪ガス株式会社
代表取締役社長

本荘 武宏様